



赤い羽根  
福祉基金

## 中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」

### 平成30年度 助成応募要項

中央共同募金会では、共同募金運動70年の節目となる昨年度、企業や団体、個人の社会貢献意識の高まりを受け、「広く」「長く」「強く」支援をつないでいくしくみとして「赤い羽根福祉基金」を創設いたしました。本基金は、公的制度やサービスでは対応できない分野において、社会課題の解決のための新たな活動やしぐみを構築し、誰もが支え・支えられる地域づくりをめざすものです。

#### 1. 趣 旨

現在、さまざまな生活課題を抱え、支援を必要としている人々が増加しています。社会的孤立や生活困窮の状態にある人々への支援、認知症高齢者や障がい児・者への生活支援、児童虐待防止などは喫緊の課題であり、公的制度やサービスの充実とともに、住民による支え合いをはじめ、ボランティア・NPO団体等による多様な事業や、地域のさまざまな団体間によるプラットフォームを形成し、連携した活動が期待されています。

このたび本基金では、全国で共通する生活課題や福祉課題の解決に向けて取り組む事業に対して、平成30年度助成募集をいたします。

#### 2. 実施主体

社会福祉法人 中央共同募金会

#### 3. 助成対象団体等

社会福祉・地域福祉の推進に寄与する団体で、法人格の有無は問いません。

ただし、営利事業を目的とする団体は対象外となります。なお、応募時点で団体が設立されており、助成対象事業の実施体制が整っていることが必要です。

#### 4. 助成対象事業・活動及び募集部門について

次の助成対象事業・活動に対して、部門を設けて助成を行います。応募書に該当する事業・活動及び部門を記載してください。

制度対象外のニーズや、将来にむけて今取り組むべき課題への対応、新たな社会資源の創出、ニーズに即した分野を超えたもの、全国的・広域的な広がり期待されるもの、複数の団体・関係機関と連携、協働する、次のⅠ～Ⅲの事業・活動に対して助成を行います。

- Ⅰ. 支援事業・活動
- Ⅱ. 活動の基盤づくり、ネットワークづくり
- Ⅲ. 調査・研究事業

上記Ⅰ～Ⅲに該当する事業・活動について、次の部門を設けて募集を行います。

1. 子ども家庭支援部門
2. 高齢者支援部門
3. 障がい児・者支援部門
4. 災害関連部門
5. 地域福祉部門

※ 本基金は、全国で共通する生活課題や福祉課題を取り上げ、多くの団体・機関と連携・協働しながら、必要な活動や人材、ネットワークなどの社会資源を創り出すことをめざしています。

これまでの「助成事業一覧」(応募状況)を、下記本会ホームページ(赤い羽根福祉基金のページ)でご紹介しておりますので、ご参照ください。

[ <http://www.akaihane.or.jp/hukushikikin> ]

#### (活動例示)

##### **1 子ども家庭支援部門**

- ① 児童養護施設等退所者への支援
- ② 地域子育て支援、児童虐待、不登校等に関する相談・支援
- ③ 児童養護施設等利用児童の社会的な自立を目指した新たなプログラム開発
- ④ 子どもの貧困問題に対応するための広域のネットワークづくりや社会資源の開発
- ⑤ 子どもの成長・発育に関する調査研究

##### **2 高齢者支援部門**

- ① 高齢者等の社会からの孤立防止
- ② 認知症の理解促進
- ③ 高齢者の自己実現、参加や就労の機会づくり
- ④ 認知症高齢者や家族を支えるネットワークづくり(若年性認知症も含む)
- ⑤ 地域支援事業のあり方に関する調査研究

##### **3 障がい児・者支援部門**

- ① 障がい児・者の社会参加促進
- ② 障がい児・者の地域における自立した生活の支援
- ③ 地域における分野横断的な就労支援

- ④障がい児・者支援のネットワークづくり
- ⑤地域における障がい児・者に関する調査研究

#### **4 災害関連部門**

- ① 災害時のボランティア・NPO活動にかかる人材育成支援
- ② 要援護者支援のための平時の活動への支援
- ③ 全国的・広域的視点からの災害時のボランティア・NPO活動の基盤づくり
- ④ 全国的・広域的視点からの災害時のボランティア・NPO活動の推進や平時のあり方に係る調査研究

※具体的な個別の災害支援・復旧は含みません。

#### **5 地域福祉部門**

- ① 社会的孤立や生活困窮課題への対応
- ② 制度の狭間のニーズに対応する新たな仕組みや社会資源の開発
- ③ 地域課題に対応する複数の社会福祉法人のネットワークづくり
- ④ 地域福祉推進の中核的役割を果たす人材の養成に関する研修・研究
- ⑤ 全国的な視点からのボランティア・NPO活動推進のための研修・研究

※上記例だけでなく、多様な生活ニーズの課題解決に向けた事業も多数応募ください。

※公費が支出されている事業は原則として対象としません。

※助成が決定した事業のなかから、特定の企業・団体による寄付を財源とする助成事業として支援を行う場合があります。ただし、特定企業・団体からの支援については、助成決定団体の意向を確認の上で実施いたしますので、応募書に意向を記入ください。

### **5. 助成事業の対象期間**

同一事業への助成実施期間は単年度から最大3か年（平成30年4月～平成33年3月）とします。

### **6. 1 団体あたりの助成額**

#### **(1) 平成30年度の年間助成上限額**

I～IIIの事業・活動に共通して 年間助成上限額 1,000万円

※複数年度で応募する場合、次年度以降については第1年次の活動をふまえた上で、あらかじめ年間助成上限額の範囲で第2年次の応募をいただきます。

※助成事業は公的な補助（一部補助は除く）や他の団体による助成を受けていない経費を対象とします。ただし、他から助成を受けていても、経費の明確な区分が行われることを条件に、応募を可能とします。

#### **(2) 助成決定**

助成決定は、本会が設置する「赤い羽根福祉基金・審査委員会」により、応募団体のこれまでの事業実績、今回の応募における事業内容・予算、また事業実施による効果等を審査の上行います。

必要に応じ本会でのヒアリングを行い、詳細を直接お聞きすることがあります。

審査の結果、応募金額からの減額があります。また、支出計画の修正が必要となる場合があります。

## **7. 助成対象経費**

基本的に事業に要する経費を対象とします（事業にかかる人件費等の管理経費を含めることが可能です）。

## **8. 応募方法・結果通知**

### **(1) 応募期間・応募方法**

平成29年12月21日（木）から平成30年1月24日（水）まで（本会必着）

### **(2) 提出書類**

応募にあたっては、「助成応募書」表紙に記載した提出書類を送付してください。

### **(3) 結果通知**

助成の可否・助成額は、本会が設置する「赤い羽根福祉基金・審査委員会」による審査の上決定します。結果は中央共同募金会ホームページで、平成30年3月（予定）に公表の上、郵送にてお知らせします。

## **9. 助成決定後のお願い**

### **(1) 覚書の取り交わしについて**

助成決定後、中央共同募金会と「覚書」を取り交わし、所定の手続きを経て助成を開始します。

### **(2) 授与式への出席**

4月に助成授与式を東京都内で行いますので、出席をお願いいたします。なお、出席に伴う旅費（団体所在地から東京までの1名分交通費、なお宿泊は伴いません）は、本助成の積算に加えてください。

### **(3) 広報等への協力**

本助成の原資である「赤い羽根福祉基金」は、企業・市民からお寄せいただいた寄付により醸成されており、本会は寄付者に助成事業等の進捗・結果を随時報告することが求められます。

そのため、助成決定後は、本会ホームページ、機関誌等への活動内容紹介のご協力いただくことが条件になります。また、助成事業に伴い作成する印刷物や看板、備品等には、「赤い羽根福祉基金」の助成事業であることを表示ください（様式は別途ご案内します）。

**(4) 中間報告及び中間報告会への出席**

年度ごとの中間報告を、本会が定める期限までに行っていただきます。

また、助成団体を対象とした中間報告会（毎年秋頃を予定）を開催しますので、あわせてご出席ください。出席に伴う旅費は、授与式同様に本助成の積算に加えてください。

**(5) 事業報告、決算報告の提出**

助成事業終了後、本会が定める期限までに事業報告、決算報告を提出ください。報告様式、及び証憑等の保管方法については別途ご案内します。

**(6) 実施評価への協力**

事業内容により、助成事業に関する評価の実施、及び本会が設置する赤い羽根福祉基金報告会等にご出席いただくことがありますので、予めお含みください。

**<お問い合わせ先・応募書類送付先>**

社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部（担当：小田・土橋・丁・戸石）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5階

電話 03-3581-3846 FAX 03-3581-5755

応募書類送信用Eメール [kikin-oubo@c.akaihane.or.jp](mailto:kikin-oubo@c.akaihane.or.jp)

（お問い合わせ用Eメール [kikin@c.akaihane.or.jp](mailto:kikin@c.akaihane.or.jp)）

**<中央共同募金会ホームページ 赤い羽根福祉基金のページ>**

<http://www.akaihane.or.jp/hukushikikin>

# 平成 30 年度

## 「赤い羽根福祉基金」助成応募書

(平成 30 年 1 月 24 日 (水) 応募締切)

応募にあたっては、下記の 1～7 の提出書類を、中央共同募金会までなるべく E メールにて提出してください。特に、作成にあたり WORD 形式で入力された「助成応募書」は、必ず E メールでお送りください。

送付先 E メールアドレス **kikin-oubo@c.akaihane.or.jp**

### ◆提出書類確認欄

※ 送付の前にすべての資料が揃っていることをご確認ください。

※ 資料に不備がある場合は、ご応募いただいても受け付けることができません。

応募締切は平成 30 年 1 月 24 日 (水) です。(資料 No. 2 以降の提出書類について郵送する場合も、平成 30 年 1 月 24 日 (水) 本会宛必着)

資料 No.	種類	書類準備 (□にチェック)	送付方法
1	助成応募書	<input type="checkbox"/>	Eメールのみ
2	規約、会則、定款	<input type="checkbox"/>	(いずれかに○印) メール・郵送
3	平成 28 年度事業報告書	<input type="checkbox"/>	メール・郵送
4	平成 28 年度決算資料 (活動計算書/損益計算書もしくは収支計算書)	<input type="checkbox"/>	メール・郵送
5	平成 30 年度事業計画書 (ない場合は平成 29 年度)	<input type="checkbox"/>	メール・郵送
6	平成 30 年度の収支予算書 (ない場合は平成 29 年度)	<input type="checkbox"/>	メール・郵送
7	直近役員名簿	<input type="checkbox"/>	メール・郵送
8 (*)	応募関連分野における活動実績、研究成果等にか かわる資料	<input type="checkbox"/>	メール・郵送

(\*) 調査研究事業に応募する場合のみ提出してください。

注：大学研究室等からの応募について

大学研究室等からの応募の場合、資料 No.1、No.7、No.8 が提出書類となります。なお、資料 No.2～No.6 の書類提出については、提出前に必ず赤い羽根福祉基金運営事務局にご相談ください。

◆中央共同募金会ホームページの「赤い羽根福祉基金」ページで公開している「応募要項」を確認のうえ応募ください。

また、応募にあたっては過去の助成概要(「審査にあたって」「助成事業一覧」「応募状況」)もあわせてご確認ください。



1. 背景と課題認識 (今回の応募事業・調査研究に取り組む背景と課題認識について記入ください)

<p>事業・調査研究の背景と課題認識 (1,200文字以内) 【※1】</p>	
<p>支援の対象者</p>	

【※1】 事業を行う社会背景や課題について、具体例、数値などもふまえて記入ください。

2. 目標及び効果 (今回の応募事業・調査研究においてめざすことについて記入ください)

<p>事業・調査研究の達成目標 (計 1,000 文字以内) 【※2】</p>	<p>*この事業の目的は何ですか。どのように課題の解決に結びつけるか記入してください。</p>
<p>事業を通して受益者にとってどのような効果が表れることを期待するか (500文字以内)</p>	<p>*期待される成果 (目指す社会、事業目標に対し、どのような変化をうみだすか) を記入してください。</p>

【※2】 複数年度にわたる応募の場合には、事業全体の目標と共に、年度ごと (「第1年次」「第2年次」「第3年次」) の達成目標も記入してください。

達成目標の記入にあたっては、できるだけ具体的な数値目標を用いて記載ください。



### 3. 応募額・事業・調査研究内容

(今回の応募事業・調査研究で取り組む内容について記入ください。なお、平成30年4月には活動を開始していることが条件です。)

	<input type="checkbox"/>	平成30年度のみ (単年度の応募)	<input type="checkbox"/>	平成31年度まで (2か年度の応募)	<input type="checkbox"/>	平成32年度まで (3か年度の応募)
	実施年度及び 年度ごとの 応募額・ 応募想定額 (口にチェック) 【※3】		平成30年度 応募額 _____ 万円		平成30年度 応募額 _____ 万円	
				平成31年度 応募想定額 _____ 万円		平成31年度 応募想定額 _____ 万円
				2か年度合計応募額 _____ 万円		平成32年度 応募想定額 _____ 万円
						3か年度合計応募額 _____ 万円
具体的な事業・調 査研究内容及び スケジュール (2,000文字以 内) 【※4】	* 事業の内容(事業概要、対象、実施地域、具体的内容)及び事業計画(実施スケジュール)を記入ください。					
事業・調査研究実 施にあたっての 工夫、及び今後の 事業・調査研究の 見通し (1,500文字以 内)	* 市民や支援対象が主体的に参加・取り組めるような工夫や、他の機関と連携することで生み出すことのできる成果、今後の事業にあたって他の財源を得る見通しなどについて記入ください。					

【※3】複数年度にわたる応募の場合には、年度を分けて記入してください。助成金の上限は1年間につき1,000万円です。

【※4】複数年度にわたる応募の場合には、年度ごと(「第1年次」「第2年次」「第3年次」)の事業計画等もわかるように記入してください。

平成 30 年度の事業・調査研究のみ主な実施内容のスケジュールを記入ください。

事業内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

※実施時期は **=====** (横線) で表してください。

#### 4. 実施体制

事業・調査研究 実施・運営体制 (1,000文字以内)	①責任者名、②チーム(班)名と主な役割、③外部協力者(専門家等)の名前と役職について記入ください。	
協力・連携する 団体や機関 <u>※担当者名・連絡先必須</u>	事業・調査研究に関して連携する機関にチェックしてください。下記のア～エに記載した連携先がある場合は、優先して名称と担当者名を記入してください。(なければ「エ その他」を記入してください) なお、下欄で不足の場合は追加して記載してください。  <機関種類記号：ア 行政、イ 社会福祉協議会、ウ NPO、NPO 支援組織、エ その他>	
	機関種類記号( )	1.
	担当者名： _____ 連絡先 TEL： _____	
	機関種類記号( )	2.
	担当者名： _____ 連絡先 TEL： _____	
	機関種類記号( )	3.
担当者名： _____ 連絡先 TEL： _____		

### 5. 応募金額（平成 30 年度分のみ記載）

（平成 30 年 4 月以降に取り組む、またはこれまで取り組んだ事業・調査研究経費のうち、この助成で応募する経費を記入ください）

#### （1）今回応募する事業・調査研究にかかるすべての収入

	金額（円）	詳細（内容・単価×個数など）
1.本助成金応募額 ※1		限度額の範囲内で希望する応募額を記入（P1 応募額と同額）
2.本助成金以外の収入額 ※2 1) 補助金・助成金収入額 2) 寄付金収入額 3) その他		内訳を具体的に
事業・調査研究費収入合計 ※3=※1+※2		

#### （2）この事業・調査研究の支出

		費目・品名	金額（円）	詳細（内容・単価×個数など）	
1. 助成金対象経費内訳 （本助成金応募額※1の内訳のみ記入してください）	1. 研究 事業・調査			@〇〇円×〇個=〇〇〇円 など	
		1. 事業・調査研究経費小計 ※4			
	2. 拠点 設置費				
		2. 拠点設置費小計 ※5			
	3. 旅費				(県内)
					(県外)
	3. 旅費小計 ※6				
	助成金対象経費合計 ※7 (※4+※5+※6)				
	助成金対象経費合計 ※8 (※7の金額から 10,000 円未満切捨)				
	2. 助成金対象外経費 ※9				
事業・調査研究費支出合計 ※10 (※8+※9)					

- ・「本助成金応募額※1」と「助成金対象経費合計※8」は同額であることを確認してください。
- ・「本助成金以外の収入額※2」と「助成金対象外経費※9」は同額であることを確認してください。
- ・「事業・調査研究費収入合計※3」と「事業・調査研究費支出合計※10」は同額であることを確認してください。

